

## 今年2月10日は北九州市制50周年

# 新たな希望の半世紀へ歩み出そう!

### 謹賀新年



皆様、明けましておめでとうでございます。お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年は二月十日に、北九州市制50周年を迎えます。私たちがこれから新たに歩み出す半世紀は、今の子どもたちの半世紀でもあります。子どもたちに誇りを持って託すことのできる希望に満ちたふるさと北九州市の街づくり

に、私は今年も邁進してまいります。変わらぬご指導をお願い申し上げます。本年が皆様にとつて幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。

二〇一三年 正月



私たちも連合北九州などと連携して、効果的な公契約条例の実現にむけて取り組みを強めていくことにしています。

まずは2月10日にキックオフ事業として「北九州市制50周年記念式典」や祝祭イベントを実施。ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム「次世代へのメッセージ」の開催や、「北九キャラクターカーニバル」など市民公募で実施される50の事業などが連続して開催

ファイナレは平成26年の2月9日に予定の「北九州シティマラソン」。もちろんフルマラソンです。多くの市民が街の魅力を感じながら街中をかけぬけます。なお市民公募事業は、これからも受けつけています。あなたもぜひご参加下さい。

地方自治体と企業の間で結ぶ公契約で「安ければ良い」というダンピング競争が激化した結果、公共サービスの質が低下するとともに「官製ワーキングプア」を生みだすことで地域経済の衰退につながる事態が進んでいます。北九州市でも例外ではなく、市議会でも何度となく公契約の

在り方が論議されてきました。このため私たちや連合北九州などの労働組合では、北九州市に対しては労働組合の質と同時に労働者の労働条件の確保を勘案した事項を契約の中に盛り込む「公契約条例」の制定を求めてきました。

これを受けて市は、市役所内部に関係部局課長等11人で「公契約条例に関する研究会」を設置したこと、また同会では他都市の情報収集や外部有識者から意見聴取なども行うことを表明しました。



市民太陽光発電所建設やシティマラソンなど、市民参加で多彩な記念行事を開催予定

門司・小倉・八幡・若松の旧5市が対等合併して北九州市が誕生し今年2月10日に市制50周年を迎えます。

この記念すべき節目の年を市民全体で祝うとともに「これまでの歩みを見つめなおし、改めてこの町を愛し誇りに思いながら希望にあふれる未来につなげよう」との基本理念で多彩な記念行事が開催される予定です。

また若松区に1.5メガワットの太陽光発電所を公募債や寄付などを集めて市民自身で作ってしまおうという大胆な計画も進んでいます。

そのため昨年12月市議会では発電した電力を九州電力に売電し、50周年事業として市民に還元する特別会計の設置などを議決しました。



### 新スタジアム整備に30億円の助成が可能へ

新しいスタジアムの建設について市は、少しでも市の負担を抑えるために行ってきた国などへの要望が実ったとして「Jリーグの本拠地となるスタジアムの新設に、スポーツ振興くじ(toto)から最大30億円の助成が受けられることになった」と昨年の12月市議会で、明らかにしました。

新スタジアムは、現在、小倉北区浅野の建設予定地の地質調査や測量中ですが、年度内にも事業費やスケジュールなどを盛り込んだ事業計画を策定した後、第2回目の公共事業評価を受けることになっています。



### 公契約条例研究会を市役所内に設置

過大なダンピング競争が地域衰退招くー公正なルール検討へ